

令和2年度 委員会活動計画

協会活動推進のための委員会

| | 諮 問 事 項 | 計 画 |
|----------|--|--|
| 労働環境委員会 | 1. 看護職の労働環境の改善推進に関する事項 | 1. 看護職の賃金モデルの考え方の普及活動 ・研修会開催 ・支援者学習会 2. 夜勤・交代制勤務に関する考え方の普及活動 ・研修会でのグループワーク開催 ・情報の提供 |
| 広報出版委員会 | 1. 会員・非会員及び住民への広報に関する事項 (会報の発行等、ホームページのモニタリングを含む) | 1. 会報誌発刊 年3回(4月、9月、1月) 2. 会報作成のための取材活動 |
| 教育委員会 | 1. 生涯学習に関する会員及び非会員のニーズ把握 2. 研修事業の企画、運営、評価に関する事項 | 1. 令和2年度研修実施録の編集・発行 ・単発及びシリーズ研修の運営・評価 2. 研修プログラムの検討と新規研修の企画 ・次年度の新企画の検討 |
| 学会委員会 | 1. 長崎県看護学会学術集会の企画、運営に関する事項 | 1. 学術集会の開催 日時：令和2年8月29日(土) ・内容充実のためのプログラム検討とスムーズな運営 (三職種が興味を持つと同時に情勢に応じたテーマ設定) ・広報：ポスター作成、ホームページ掲載等 ・演題募集と抄録査読 (査読員の決定、打ち合わせ会議の開催) ・学術集会の評価 |
| 学会誌編集委員会 | 1. 長崎県看護学会誌の編集及び発刊に関する事項 2. 査読の質の向上に関する事項 | 1. 学会誌の編集・発行：6月予定 ・掲載論文の選考および査読 ・投稿規程の継続的な見直し ・掲載論文確保のための学会誌のPR活動 2. 査読員研修 ・査読員のデータベースの作成と管理 ・査読能力向上のための研修 |

委員会活動計画

| | 諮 問 事 項 | 計 画 |
|---------|---|---|
| 災害看護委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護の普及啓発に関する事項 2. 災害支援ナースの登録推進及び実践力の確保に関する事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害支援ナースの登録推進・情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会・交流会での普及啓発（パネル展示等） ・「会報」「協会だより」「ホームページ」の活用 2. 災害支援ナースの実践力の維持・向上 <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナース育成研修（実践編）の企画・運営協力 ・災害支援ナース交流会 |
| 安全管理委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護・介護の安全の普及に関する事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全に関する交流会開催 2. 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・協会だよりやホームページを利用し、事例紹介、解決策、検討事項を掲載 3. 研修センター企画「医療安全管理者養成研修」当日研修運営への協力 |

その他特定課題のための委員会

| | 諮 問 事 項 | 計 画 |
|------------------|--|--|
| 認定看護管理者教育課程運営委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 認定看護管理者教育課程（ファースト・セカンドレベル）の企画・運営・評価及び修了認定に関する事項 2. 日本看護協会との連携、協力に関する事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画・運営マニュアルに沿った適正な教育課程の企画・運営・評価 2. 認定看護管理者教育機関審査・申請システムでの情報更新 |
| 倫理委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員・非会員等から申請された研究等の倫理審査に関する事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 審査の申請があればできるだけ早く委員会開催し審査を行う |
| 長崎県看護協会あり方委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職能団体としての長崎県看護協会のあり方に関する事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 協会運営上の課題について看護の臨床、教育、経営的な観点から検討 2. 長崎県看護協会の収入確保・経費削減対策、研修事業、訪問看護ステーション事業、看護職の確保定着についての観点から検討 |